

「次世代消防業務システム設計・導入業務委託」特定結果

「次世代消防業務システム設計・導入業務委託」について公募型プロポーザル方式で事業者選定を実施した結果、次のとおり事業者を特定しました。

1 業務名

次世代消防業務システム設計・導入業務委託

2 業務内容

令和7年度から本委託にて構築を開始する新システムは、総務省消防庁で推進する消防業務システムの標準化とクラウド活用を踏まえ、横浜市の施策として推進している「場所を選ばず業務を行う運用」の達成を目指し、現場のデジタルデバイスと連携したDXの推進やユーザビリティの改善を行い、事務処理の効率化を図ることを目的としています。

そのため、本業務では次世代消防業務システム及び消防通信指令システム等他システムと連携するための中継サーバ、現行GISシステムの縮小版の設計・導入業務を実施します。

3 特定事業者

日本電気株式会社 神奈川支店

4 評価結果（評価委員9名による評価）

	提 案 者	評価点数 (18,000 点満点)
1	日本電気株式会社 神奈川支店	16,270

5 評価委員会開催経過・評価基準等

令和7年5月27日に公告をしたところ、令和7年6月9日の参加意向申出書提出期限までに1者の申し出がありました。その後、令和7年7月7日の提案書提出期限までに1者から、提案書の提出がありました。

令和7年7月22日のプロポーザル評価委員会においてヒアリングを行い、令和7年7月29日の消防局第一業者選定委員会において、プロポーザル評価委員会における基準を満たしている事業者を契約締結の候補者として特定しました。

※ 評価基準については別紙のとおりです。

提案書評価基準

1 評価事項

提案書に対する評価項目は別紙「提案評価表」を参照。

2 評価方法

(1) 評価

各評価項目について、A、B、Cの3段階評価とする。

(2) 評価点の算出

A評価（50点）、B評価（30点）、C評価（10点）に項目ごとの倍率を掛けて算出する。

(3) 大項目6（消防局ネットワーク環境への対応）のうちC評価が1つ以上または全体でC評価が5つ以上あるものは原則として選定しない。

3 提案者の選定方法及び受託候補者の特定方法

(1) 評価項目について、委員長及び副委員長を含む全ての評価委員が与えた合計点が最も高く、かつ大項目1～7の各合計点数が全て6割以上を満たす者を受託候補者として特定します。

(2) 総合計点を比較してもなお、受託候補者を特定できない場合には、大項目6（消防局ネットワーク環境への対応）の合計点の順序で受託候補者を特定します。

【提案評価表】

評 価 項 目		評価事項(重み)	評価基準			倍率	満点
			A	B	C		
1 業務実施体制及び企業実績							350
1.1	企業としての開発実績	・過去5年以内に消防業務関連の業務システムの開発・導入実績があるか。 ・政令指定都市消防本部や東京消防庁のシステム開発・導入実績があれば高評価とする。	政令指定都市消防本部等を含む実績が5件以上ある。	実績が3件以上ある。	実績なし	1	50
1.2	品質保証	SLA(サービスレベルアグリーメント)において高度なサービスレベルが担保されているか。	高度なサービスレベルが担保されている。	十分なサービスレベルが担保されている。	サービスレベルが不十分である。	1	50
1.3	機密保持体制	セキュリティ対策としての機密保持体制が整えられているか。	十分な体制が整えられている。	最低限の体制が整えられている。	体制が整えられていない。	1	50
1.4	企業体制(プロジェクト体制)	プロジェクトに対応できる要員確保体制が整っているか。	十分な体制が整えられている。	最低限の体制が整えられている。	体制が整えられていない。	1	50
1.5	企業体制(要員の確保)	プロジェクト遅延等の不慮の事態にも対応できるプロジェクトメンバー以外の要員確保体制が整っているか。	十分な体制が整えられている。	最低限の体制が整えられている。	体制が整えられていない。	1	50
1.6	企業体制(プロジェクト支援)	今回のプロジェクトを支援する具体的な企業体制が示されているか。	十分な体制が整えられている。	最低限の体制が整えられている。	体制が整えられていない。	1	50
1.7	提案にあたっての基本的な考え方	本市の方針や目的、解決すべき課題や想定効果等を適切に理解した妥当な提案となっているか。	十分に理解された提案となっている。	最低限理解された提案となっている。	理解されていない。	1	50
2 予定技術者の能力・実績							200
2.1	プロジェクト管理者の実績	・過去に行ったプロジェクト管理の規模、数、対象業務の実績を評価する。 ・消防事務関連業務の実績があれば高評価とする。	消防関連の実績が十分にある。	実績がある。	実績がない。	1	50
2.2	プロジェクト管理手法の実績	・プロジェクト管理において発生した問題とその解決策。その他工夫など。 ・消防事務関連業務の実績があれば高評価とする。	消防関連の実績が十分にある。	実績がある。	実績がない。	1	50
2.3	今まで行った開発手法	・開発時に発生した技術的な問題とその解決策。その他工夫など。 ・消防事務関連業務の実績があれば高評価とする。	消防関連の実績が十分にある。	実績がある。	実績がない。	1	50
2.4	開発実施時の重視点	・今回の開発プロセスを実施するにあたり、どのような点を重視するか。 ・想定している体制に関して、どの程度の能力の人員が必要で、どのように体制運営をすることを考えているか。 ・内容は妥当であり、説得力があるか。	妥当かつ説得力のある提案となっている。	妥当な提案となっている。	妥当な提案になっていない。	1	50

【提案評価表】

評価項目		評価事項(重み)	評価基準			倍率	満点
			A	B	C		
3 業務委託に対する理解度及び業務体制							300
3.1	プロジェクトに対する理解	次世代消防業務システム基本方針に沿った具体的な提案になっているか	十分理解し、具体的な提案となっている。	概ね方針に沿った提案となっている。	方針に沿った提案となっていない。	2	100
3.2	条件・仕様内容についての理解	業務説明資料「9 条件」に記載している次の項目を理解し、具体的に提案できているか。 (1) 指令システムとのデータ連携を必須とすること。 (2) クラウド環境の構築を必須とすること。 (3) YCAN(横浜市行政情報ネットワーク)との接続を必須とすること。	十分理解し、具体的に提案できている。	最低限理解し、概ね提案できている。	理解した提案になっていない。	2	100
3.3	開発環境構築体制	・開発環境(クラウド環境)を構築するための開発プロセスの全体を俯瞰した説明があるか。 ・開発プロセスに基づいた具体的な業務実施方法が提案されているか。	十分に具体的な提案となっている。	具体的な提案となっている。	具体的な提案となっていない。	1	50
3.4	テスト環境構築体制	・テスト環境を構築するための開発プロセスの全体を俯瞰した説明があるか。 ・開発プロセスに基づいた具体的な業務実施方法が提案されているか。	十分に具体的な提案となっている。	具体的な提案となっている。	具体的な提案となっていない。	1	50
4 システムの機能要件							400
4.1	場所を選ばず業務を行う運用の実現	現場からのシステム参照やデータ更新を可能にする具体的な提案になっているか。	具体的に提案できている。	提案できている。	提案できていない。	1	50
4.2	機能要件の実現手法に関する提案	・現行システムにおける課題を理解し、課題の解消に向けた手法や、機能要件を当局と協議の上確定するプロセスについて具体的に提案されているか。 ・当局職員の業務負担軽減につながる提案がされているか。	具体的に提案できている。	提案できている。	提案できていない。	1	50
4.3	国の標準化の動きを踏まえた提案	極力カスタマイズを抑制するなど、総務省消防庁で推進する消防業務システムの標準化とクラウド活用を踏まえた提案がされているか。	具体的に提案できている。	提案できている。	提案できていない。	1	50
4.4	ユーザービリティに関する提案	直感的にデータ連携できる画面構成や不要な項目のないレイアウトなど、職員(利用者)がサービスを利用するうえで、デザインも含め使いやすいUIを提案しているか。	利用者に寄り添った十分な提案ができている。	最低限の提案ができている。	提案できていない。	2	100
4.5	データ活用に関する提案	各業務のデータが蓄積され、横断的に活用できるデータベースの構築が行われており、データの活用方法等について具体的に提案されているか。	具体的に提案できている。	提案できている。	提案できていない。	1	50
4.6	データ連携に関する提案	横浜市電子申請システム及びGISとのデータ連携が実装できる提案となっているか。	連携方法やリスクへの対応について、具体的に提案できている。	提案できている。	提案できていない。	1	50
4.7	データ移行を見据えた提案	・データ移行を見据えたシステム設計になっているか。 ・具体的な移行手順が想定されているか。 ・移行後、不具合があった場合は、現行システム保守管理者と協力して迅速に対応できる体制があるか。	具体的に提案できている。	提案できている。	提案できていない。	1	50

【提案評価表】

評 価 項 目		評価事項(重み)	評価基準			倍率	満点
			A	B	C		
5 システムの非機能要件							300
5.1	可用性に関する提案	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間365日利用ができる想定になっているか。 ・大規模災害時においても、システムの早期復旧を行える提案になっているか。 ・システム稼働率が目標値を満たせる又は目標値を超える提案となっているか。(目標値:99.5%) 	具体的に提案できている。	提案できている。	提案できていない。	1	50
5.2	冗長性に関する提案	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク環境が冗長化された提案となっているか。 ・システムを停止することなくバックアップデータを取得できる提案となっているか。 ・統計情報が消失した場合を想定したバックアップ管理が提案されているか。 	具体的に提案できている。	提案できている。	提案できていない。	1	50
5.3	セキュリティに関する提案	<ul style="list-style-type: none"> ・侵害対策に関する具体的な提案がされているか。 ・不正監視・追跡に関する具体的な提案がされているか。 ・アクセス・利用制限に関する具体的な提案がされているか。 ・データ保護に関する具体的な提案がされているか。 ・障害対策に関する具体的な提案がされているか。 ・サプライチェーン・リスク対策に関する具体的な提案がされているか。 ・利用者保護に関する具体的な提案がされているか。 	具体的に提案できている。	提案できている。	提案できていない。	2	100
5.4	運用保守を見据えた提案	運用保守計画について具体的に提案されているか。	具体的に提案できている。	提案できている。	提案できていない。	1	50
5.5	制度改正対応・ドキュメント修正	<ul style="list-style-type: none"> ・制度改正による仕様変更やパッケージ改修・更新に伴うドキュメント修正について、適切な提案となっているか。 ・要件の見直し、ドキュメントの更新作業等を効率的に行う提案となっているか。 	具体的に提案できている。	提案できている。	提案できていない。	1	50
6 消防局ネットワーク環境への対応							250
6.1	指令系システムとのデータ連携に関する提案	指令系システムとのデータ連携が実装できる提案となっているか。	完全に連携可能な提案となっている。	一部連携可能な提案となっている。	連携可能な提案となっていない。	3	150
6.2	ネットワーク環境に関する提案	次世代消防業務システム基本方針「次世代消防業務システムのネットワーク構成」を想定した具体的な提案になっているか。	十分に具体的な提案となっている。	具体的な提案となっている。	具体的な提案となっていない。	2	100
7 プロジェクト管理							200
7.1	スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・実現可能と考えるスケジュールが具体的に提案されているか。 ・リスク対応を見据えたバッファが確保されているか。 	スケジュール管理やリスクへの対応について、具体的に提案できている。	提案できている。	提案できていない。	2	100
7.2	実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・実施体制が明確にされているか。 ・業務遂行に必要な責任体制(意思決定者の明確化、位置付け)となっているか。 ・構築に係る本市職員との連携が考慮されているか。 	体制が明確に提案できている。	提案できている。	提案できていない。	1	50
7.3	システム移行	現行システムから次世代消防業務システムへの移行について、操作研修や問合せ対応等が想定された提案になっているか。	円滑なシステム移行に向けた具体的な提案ができている。	提案できている。	提案できていない。	1	50
合計							2000